

暮らしを豊かにする仕組みづくりの研究

梅澤 佳子 多摩大学経営情報学部 教授

多摩大学教員サイト URL <http://www.tama.ac.jp/guide/teacher/umezawa.html>

キーワード

レジャー（=教育・生涯学習）・コミュニティデザイン・健康スポーツプログラム開発、生涯学習プログラム開発、全員参加型

概要

本研究室は、社会学（主にレジャー、教育、生涯学習、地域、健康スポーツ、生活文化）からのアプローチにより、暮らしを豊かにする仕組みづくりの調査・研究を行うと共に、産学公民連携により、自由時間のプログラム開発、生涯学習プログラム開発、成熟社会におけるコミュニティデザイン（地域の仕組みづくり）を通じて研究を実際に活かす取り組みを行っている。

近年は、人口減少、人生 100 年時代の到来を見据え「世代間交流による地域文化の継承、地域の担い手づくり」、「アクティブシニアの生涯学習」、「多世代交流による健康づくり」を 3 本の柱として研究に取り組み、「ロコモティブシンドローム予防のための健康講座」や「世代間交流健康トレーニング」などを地域の方々や学生を巻き込みながら実践している。

ゼミは問題解決に向かって自ら行動を起こすことができる「次世代の豊かな生活者」の育成を目指し、産学公民と連携して地域課題解決型プロジェクトを年間 4～5 件実践。2014 年度は(公社)学術・文化・産業ネットワーク多摩主催「多摩の大学生 まちづくりコンペティション」で 2 件のプロジェクトが最優秀賞、奨励賞を受賞した。2016 年度・2017 年度は大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業に採択され、八王子市地域包括支援センター、八王子市社会福祉協議会と連携してサロンの企画運営を行っている。

利用・用途

応用分野

- *健康長寿社会に向けての健康教育プログラム開発とサービス（実績多数）
- *ロコモティブシンドローム対策のための健康プログラム開発とサービス（実績多数）
- *シニアを対象としたレジャー教育プログラム開発
- *PBL 型教育プログラムの開発と実践（実施中）
- *行政・企業・民間向け生涯学習プログラムサービス（研修等）の開発（実績多数）
- *多世代交流を目的とした健康、生涯学習プログラムサービス（実施中）

関連論文・著書

1. 「地域連携型 PBL による次世代と地域を育む学びの可能性-多摩大学ホームゼミナール活動を通じて」（単著）『多摩学のアクティブ・ラーニングプログラム開発』100-105 頁. 多摩大学経営情報学部 2014 年度共同研究プロジェクト. 2015 年
2. 「IX 章ウォーキングの実践と継続に向けて-地域密着型ウォーキング習慣の育成」（単著）宮下充正監修『ウォーキング指導者必携- Medical Walking』南江堂. 2013 年
3. 「旅と健康」「モラトリアム」（単著）日本応用心理学会編『応用心理学事典』丸善. 2007 年